

平成30年6月2日(土) (和歌山県勤労福祉会館プラザホープ4Fホール)

認知症フォーラム「専門性と地域力」 アンケート結果

第1部

特別講演

知っているようで
知らない認知症

講師

大阪河崎リハビリテーション大学
学長 亀井 一郎 先生



第2部

認知症ケア・
先進地域の取り組み
～認知症になっても
誰もが活躍できるまちづくり～

講師

御坊市役所 介護福祉課 地域支援係
係長 谷口 泰之 先生



第3部

パネルディスカッション

コーディネーター

和歌山市第4在宅医療・
介護連携推進センター
センター長 橋本 道弘

パネリスト

大阪河崎リハビリテーション大学
学長 亀井 一郎 先生
御坊市役所 介護福祉課 地域支援係
係長 谷口 泰之 先生

認知症になっても住み慣れた地域で暮らす

専門性と 地域力



認知症フォーラム

参加無料

平成30年

6月2日(土)
13:30～16:30

和歌山県勤労福祉会館
プラザホープ4Fホール
和歌山市北出島1丁目6-47

定員 200人(先着順)

対象 ●一般市民
●医療介護関係者



認知症ケアで足りない部分があるとするならば何でしょうか?このフォーラムは「専門性」と「地域力」を切り口に、認知症に対する基本的知識の習得と認知症を患う人が分け隔て無く受け入れられるまちづくりを紹介し、認知症を支える知恵と力を考える機会とします。



和歌山市第4在宅医療・介護連携推進センター

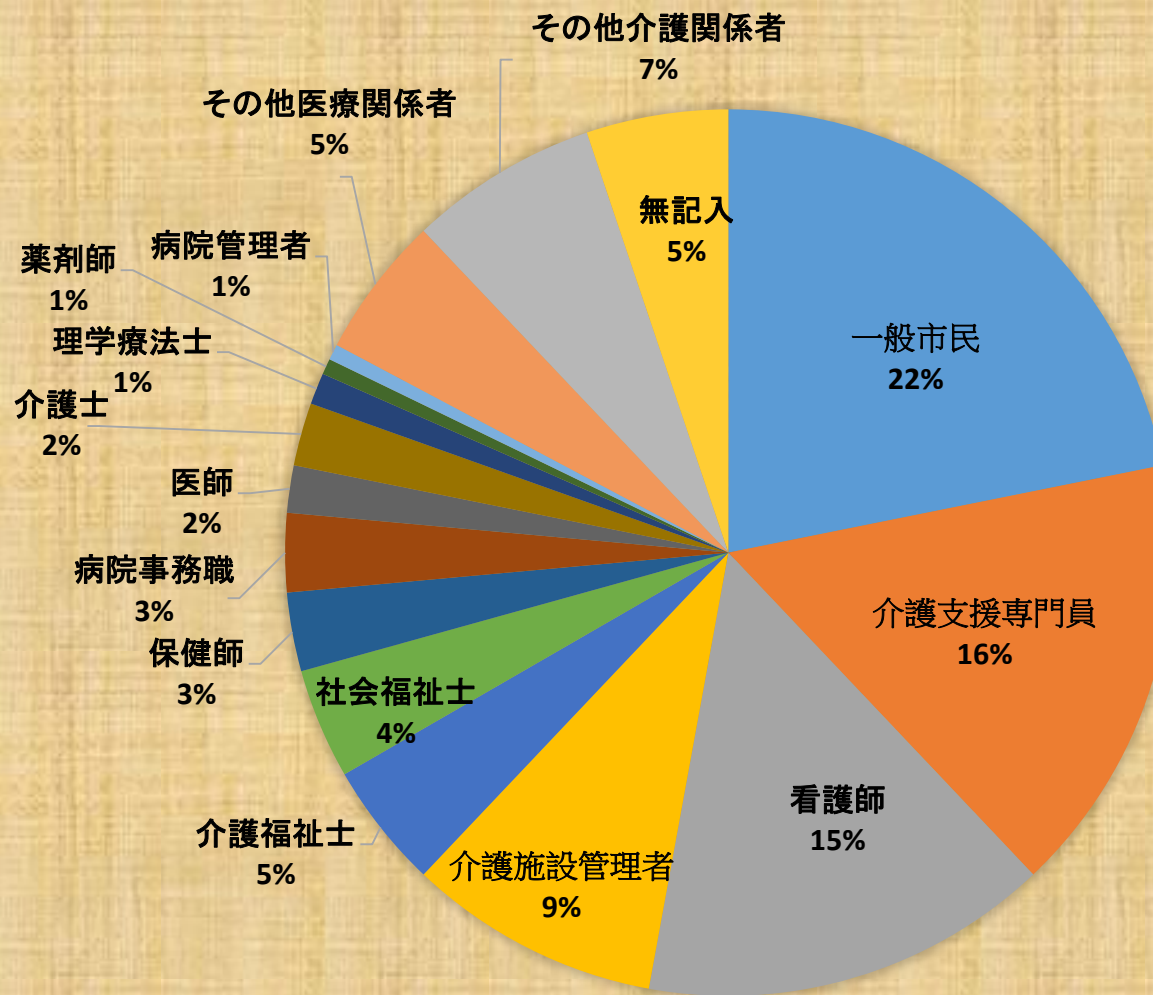
〒640-8303 和歌山市鳴神123番地の1(医療法人裕紫会 中谷病院内)

TEL. (073) 473-2863 (平日9:00～17:00) FAX. (073) 473-0864

参加者数	174
アンケート回収数	122
アンケート回収率	70.1%

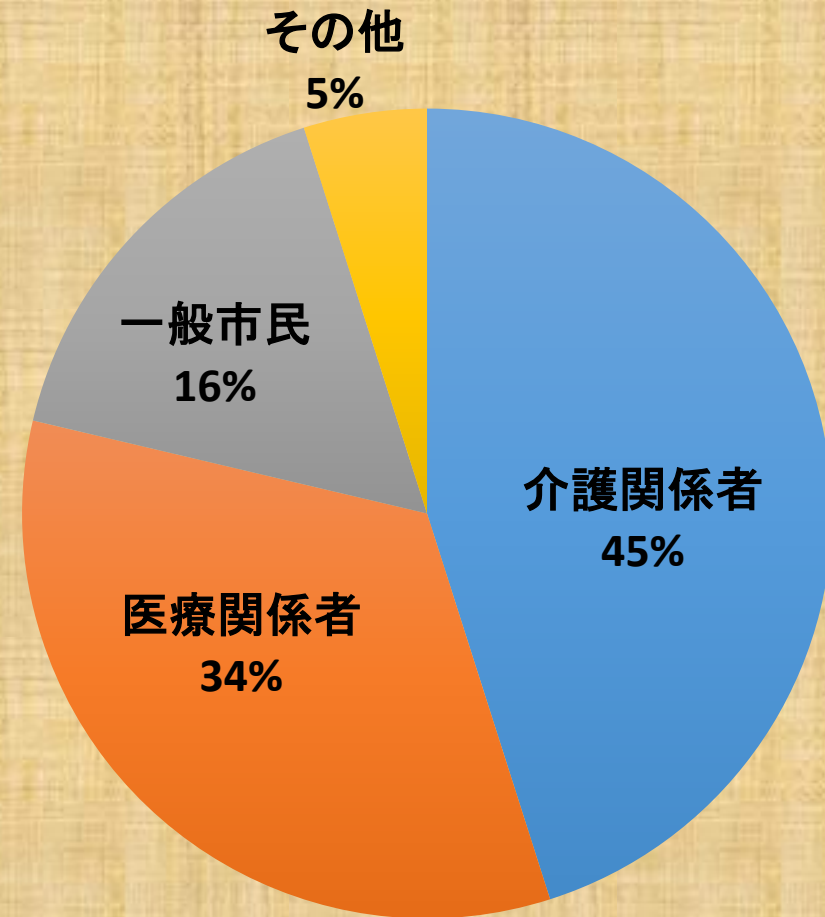
職種別参加者

職種別参加者	
一般市民	38
介護支援専門員	28
看護師	26
介護施設管理者	16
介護福祉士	8
社会福祉士	7
保健師	5
病院事務職	5
介護士	4
医師	3
理学療法士	2
薬剤師	1
病院管理者	1
その他医療関係者	9
その他介護関係者	12
無記入	9
合計	174



問1. あなたのことをお聞かせ下さい（アンケート記載者）

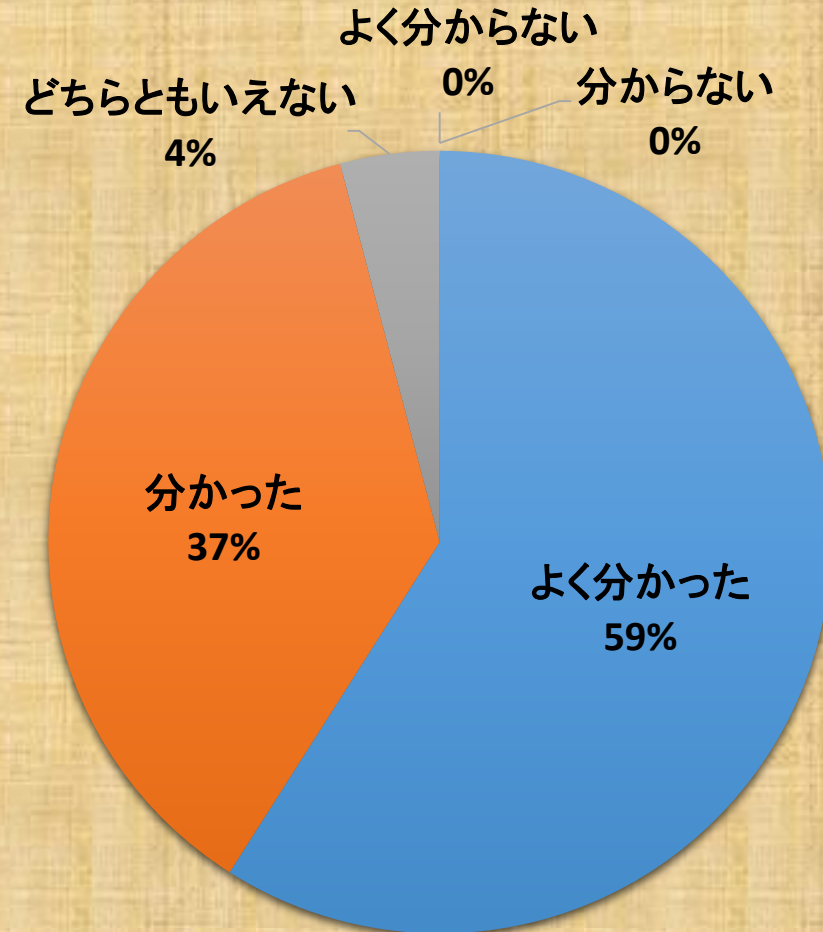
介護関係者	55
医療関係者	41
一般市民	20
その他	6



問2. 第1部の「亀井先生」の認知症講演についてお聞きします。

大阪河崎リハビリテーション大学 学長 亀井一郎 氏

よく分かった	72
分かった	45
どちらともいえない	5
よく分からない	0
分からない	0



感想をお聞かせ下さい

亀井先生「知っているようで知らない認知症」(自由記載)

NO1

- ・ゆっくりと分かりやすい説明だったと思います。
- ・とてもわかりやすく、もう少しお話を聞きたかったです。ありがとうございました。
- ・老後これから先の事を考えると色々な方と話をしたり、人の話を聞き沢山の人々にお会いする機会が増えるといいと感じました。
- ・本人さんが好きなことやりたいことを見つけることが難しいのでは・・・(支援する側から)
- ・私自身、自分の人生の中で趣味や楽しいこと、これからどんどん前向きに考え取り組んでいけたらと思う。
- ・認知症の種類を知ることができました。治ることがないという悲しい病であるけれども認知症の予防や遅らせるために必要な知識が必要で又専門医に診断してもらう必要性も感じました。
- ・認知症の型や中核症状などよく理解できました。医療者として認知症状を予防、進行を遅くさせることの大切さを再認識できました。
- ・何となくですが少し分かりかけてきた。
- ・認知症のことがわかりやすく、よく理解できました。
- ・認知症といえばアルツハイマーが多いと思うのですが最近レビー小体の方もよく耳にします。幻聴、幻視などがあり本人にとっては現実のことなので、そのへんをもっと掘り下げてみたいと思います。
- ・わかりやすいお話でした。最後まで全部のお話をお聞きしたいと思うほどわかりやすかったので時間が足りず残念でした。画像の説明、ポインターで示して頂けると、場所が分かったのではないかと思います。
- ・とてもわかりやすく学ぶことができました。
- ・分かり易い説明でよく分かりました。
- ・先生がPC上で動かせる矢印がスクリーンには映っておらず、どこのことかせっかくなのに分からず残念だった、係りの人はポインターをもって先生に知らせるとよいと思った。
- ・もっとひとつひとつの認知症を説明して頂きたかったです。
- ・分かり易い説明でとてもよかったです。
- ・実践や実際を例示頂き分かりやすかったです。

- ・忘れっぽくなっているので、何にでも興味を持ち近所の友達と楽しくおしゃべりし、このままでいきたいです。
- ・資料と共に先生の話しを聞き、認知症が少し理解できました。今までも認知症のことを聞いたりし、少し知識があり、私も母の脳梗塞の介護をしているので、今日のフォーラムを今後に生かしたいと思います。
- ・時間があればもっとレビー小体や前頭側頭型について聞きたかった。講演の内容は分かり易くよかったです。ありがとうございます。
- ・認知症にも色々ある事を知りました。老いた母や入居者の方に日頃接しているので、とても勉強になりました。
- ・知らなかった認知症のことが勉強になりました。
- ・認知症の(種類)違いで症状の違いが良く分かった。
- ・お医者の方の立場から認知症を説明され非常によくわかった。
- ・認知症にならない為に生活習慣を改めたい。
- ・専門用語がなく分かり易い言葉でききやすかったです。
- ・大変口調のやさしい、心温まる話し方で聞きやすかったです。
- ・具体的に認知症状について教えていただけたと思います。
- ・先生の誠実さが伝わってきてよかった。
- ・認知症の中核症状を抑えることは、内服等での治療となりますが、周辺症状を最小限に抑えるために周囲の人の関わり方も大切であると感じ、看護師として症状のアセスメントと対応を学びたいと思いました。
- ・手術で治ることも(事故等の場合)あるとは、知らなかった。
- ・だんだん長生きのなっているので認知症が心配になった。
- ・認知症のことがより理解できた。
- ・わかりやすい内容でした。ユーモアをいれた話し方が良かったと思います。
- ・楽しく聞かせて頂きました。生活面に生かしていきたいです。

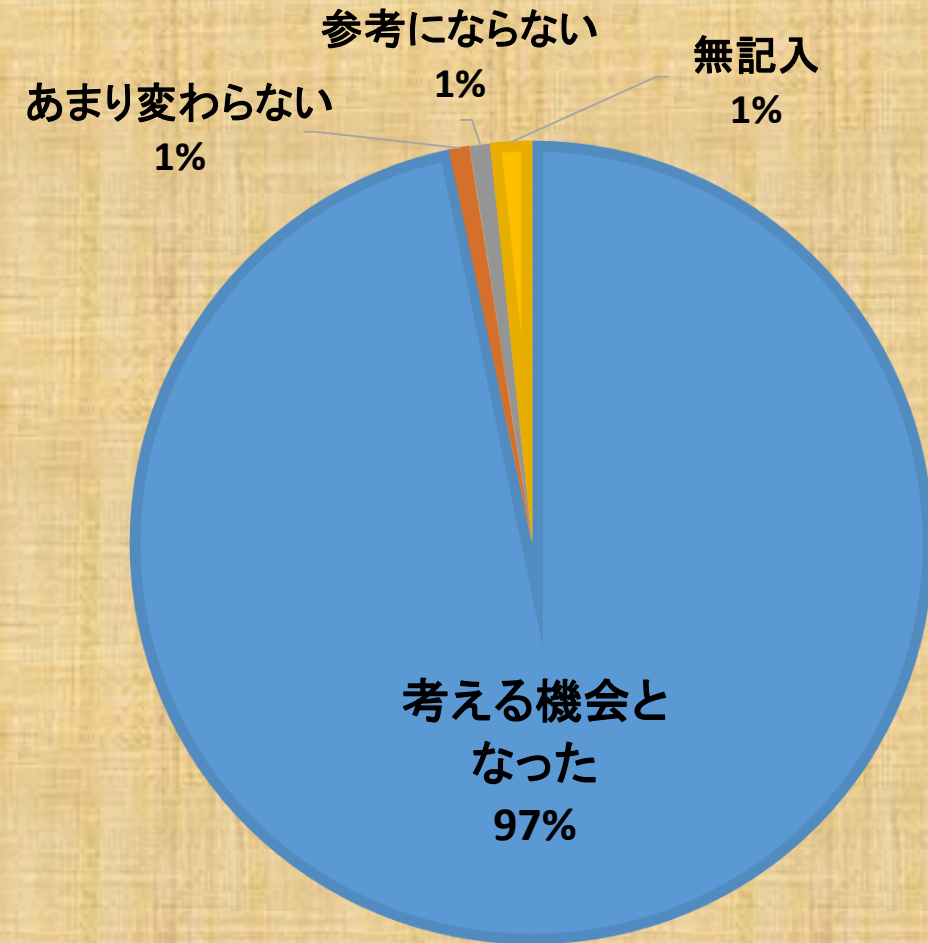
- ・認知症に種類があり、それぞれの脳のしくみ状態の違いが分かりました。
- ・認知症の種類やその特徴がよく解った。
- ・認知症のみにフォーカスするのではなく、ワーキングメモリーや歴史上の人物などの話があり、おもしろかった。認知症の事例もあり参考になった。
- ・認知症状がでていても手術で治すことができるものがある。
- ・分かりやすいお話でした。
- ・介護の現場でヘルパーをしています、人を病気とみないで対応させて頂こうと思っています。軽い認知症の利用者の方にやさしい声で声かけを大事にしています。納得してもらうまで話しています。
- ・今回学んだことをサポーター養成講座などでも活かしたいと思います。
- ・認知症の基礎知識を学ぶことができました。
- ・医療的に教えてもらえわかりました。
- ・ワーキングメモリーが新鮮でした。
- ・認知症の違いも分かりやすかったです。
- ・認知症によってちがう行動が分かり、対応が少しできるのでは！
- ・認知症の患者が増えてきている。今後の治療や薬に期待したい。
- ・専門性があるあまり分からなかった。
- ・とても分かりやすい説明でよかった。
- ・認知症の確定診断を受ける事がなかなか大変・・・
- ・話が楽しく、認知症の病状がたいへん分かり易く、とても勉強になりました。
- ・もう30分聞きたかった。もっと分かったと思う。
- ・中核症状を親分、周辺症状を子分と話され分かりやすかったです。

- ・ワーキングメモリー初めて聞いた言葉でした。頭の回転がよくなるようワーキングメモリーを向上させる為に必要な行動をぜひしてみたいと思います。
- ・とても分かりやすく、またユーモアもあり、楽しく、興味深く学ぶことができました。講演時間が短かったと思います。次回も講演して頂きたいです。
- ・認知症の各疾患における特徴が非常に解りやすかった。
- ・認知症の予防法など勉強になりました。
- ・全て理解していると思っていた認知症でしたが、まだまだ分かっていない所も多くあり、学ぶことができました。
- ・少子高齢化がすすむ中、認知症の高齢者が増えていくが、色々な認知症の種類があり、その特徴にあった接し方が必要になるのかなと感じました。
- ・医学的な知識が深まった。
- ・もう少しわしくというか、ゆっくり講演をきいてみたいと思った。認知症についての知識が少しだけでも深まった。
- ・全部の話が聞きたかった。途中パワーポイントがなく、どの場所を指しているのかわからなく残念でした。
- ・楽しく分かり易く聞かせて頂きました。
- ・最近認知症に関して勉強することがあったんですけど、脳のことについては勉強できていなかったもので、この機会にもっと知りたかったです。
- ・専門用語とかではなく、分かり易い言葉で具体的な話もまじえながら話をして頂き、聞き取りやすかったです。

問3. 第2部の「谷口先生」認知症当事者(本人)の想いを大切にする取り組みを聞いて、地域の「人のつながり」について考える機会になりましたか？

御坊市役所 介護福祉課地域支援係 係長 谷口泰之 氏

考える機会となった	118
あまり変わらない	1
参考にならない	1
無記入	2



感想をお聞かせ下さい

谷口先生「認知症ケア・先進地域の取り組み」（自由記載）

NO1

- ・すごく感動しました。認知症当事者の方の生活、他の方々との交流と、認知症の方の生きがいについて関係者の集まる場を作る事が大切、笑顔の多い生活を送れるように、関わりを持つ仕事当事者が周りにもいてほしい。
- ・感じが橋本室長に似ている人だった。プロジェクトを立ち上げた事が前に進んだきっかけといていたが本当に突き進ませた理由を聞きたかった。
- ・一応介護の資格をもっていますが、一緒に勉強した方達が介護職について仕事をしている中で勉強した事と現実との違いでかなり落胆というか差がありすぎて、介護職自体をやめてしまった人がいると聞いた事があり、御坊市のように現実に介護される本人の方や家族の方の為に一生懸命考え、働ける場所がもっとたくさん増える事で仕事にやりがいもでき、資格を生かす事ができる職場で仕事できる楽しみをあり、離れていく人が少なくなるとも思うので、御坊市だけでなく、たくさんの県、市町村で増えていくと本当に良い事だと思いました。手書きの表彰状がすごく良いと思います。
- ・地域として熱心な取り組みが勉強になりました。
- ・認知症でも、そうでない高齢者でも生きがいがあれば笑顔になれる。
- ・本当に素晴らしい取り組みでした。市役所が直接地域に入っていく行動を起こしていく、本当に心をうたれました。ありがとうございました。
- ・認知症の方にもそうでない方にも、地域の「人のながり」は大切だと感じました。
- ・「認知症の人を支える」ではなく、「認知症の人と共に過ごす」という視点の大切さが解りました。
- ・大変よかったです。認知症の方に対しての関わりはつい押し付けがましい物になっているのではないかと考える機会となりました。ただ色々な関わりに必要性を感じながらも人材不足の為実際に行えるかどうか難しいです。

- ・年齢に関係なく、その人のできる事、したいことを探していけるそんな支援を心掛けたいと思いました。「その人を知る」ことが大事ですね。
- ・NHKで知りました。本日もOKです。（身体障害者2級の方より）
- ・認知症になって支援される側、する側じゃなく、共に共存する事がとてもよかった。
- ・地域作りは個人、行政、近所それぞれが動かないとダメだと思いました。まずはできる所から具体的に動くことが大事ですね。行政と本人が近いのが良い！
- ・本人の思いを大切にすること、当然の様であるがなかなか出来ないこと、家族の思いや他者の思いに重きを置いてしまう。とても考えさせられる講演でした。
- ・具体例を上げて本人の変化が良く分かった。これから自分自身に当てはめていきたいと思った。
- ・人とのつながり、環境があれば幸せに暮せるとの事で認知症にあっても役割をもち活躍できる地域作りについて考え、地域を知る事から初めてみようと思いました。
- ・住んでいる地域やまわりの環境で在宅で生活を継続できるんだと感じました。
- ・地域力は本人にとって一番大きな力になることを感じました。
- ・本人の意向を尊重するとりくみはなかなか時間がかかる事だと思いますが人とのつながりづくりの参考になりました。
- ・以前訪問看護をしていましたが、認知症の利用さまは本当に人それぞれでした。家族の方々もそれぞれの考え方があり、介入の仕方について本人の思いを大切にすることの重要性を改めて感じました。
- ・御坊の取り組みに将来の希望が出来ました。
- ・自分には、なにが出来るのか思わせられました。
- ・すべての人のつながりが重要だと思った。自分はどうなるか考えさせられた。
- ・私の母は。認知症で地域の方々、近所の方ケアマネの方にお世話になってます。1人暮らししてますので心配はありますが、周りの方に助けられており感謝してます。御坊市の取り組みは参考になりました。
- ・認知症の人の笑顔がよかったです。

- ・人のつながりの重要性和大切さを感じました。ほこら作りをした方や筆耕された方などすばらしいと思います。「支援する側、される側」ではなく共に何かをする姿勢がすばらしく思いました。
- ・若い世代は子育て等がありなかなか地域活動に参加出来ないことがあるが、同じ高齢者が助け合う事に加え、若い世代の地域住民も参加出来る試みも考えたいと感じた。
- ・地域で生活していくには、人とのつながりが大切であると思いました。いつも支援方で考えてしまっていたなということに気付き、当事者のことを知り、一番本人にとっていい方法を考えていきたいと思いました。
- ・実際の事例やVTRがあり、現状を知り認知症の方の気持ちがよく分かった。感動しました。
- ・普段ケアマネージャーとして働いています。もちつきについて、きねとうすではなく餅つき機で良いと言った本人たちの希望は確かに準備する側のイメージとは違うなと思った。又、上田さんのケアマネージャーがなんでも良いので本人が笑顔になれることを優先させていきたいと話していることに賛同します。
- ・人は環境によって表情が大きく変わる。
- ・映像で認知症本人の声が聞けて大変為になりました。
- ・和歌山市でも同じように取り組む事が出来ればすごく良いと感じました。住民の力を信じて、住民の協力で色々な事が出来る地域作りをしたいと思います。
- ・住み慣れた地域の方との関わり大切さを考える機会となりました。
- ・良い成功事例を聞かせて頂き参考になりました。
- ・現状(事業所等)をみていると難しいが、本人の想いを大切に役割が持てるよう関わりが持てると良いなと感じた。
- ・映像を見せて頂き、ご本人、家族、まわりの笑顔最高ですね。
- ・市行政の方が、本人、ご家族の話をしっかり受け止め、介護サービスとの連携がとれている。他の市(和歌山県内)との情報を交換して広げてほしいと思います。
- ・早口で分かりにくいところがあった。伝えたい内容はゆっくりと説明してほしい。

- ・地域のすばらしさを改めて感じた。ご本人の笑顔がすばらしかった。
- ・認知症であっても特技を生かしてあげる。参考になりました。
- ・認知症とは特別なことではなく、身近な誰もがなりうることであり、それらに関わる時、どのように接し行動するのか勉強になりました。
- ・地域の中での住民とのつながりが、再度、人を生かせることが分かりました。
- ・御坊市の取り組みに感動しました。日常的でない行動する時、その人にとって理由があることを認識することや、マイナス面できないことを問題にするのではなく、できることプラスの面を伸ばすかわりが重要であること、それによって元気になったり、普通の生活が出来るようになった事例を多く経験しています。出来ないことを援助しすぎることは、その人の能力を低下させてしまうことを認識する必要があります。
- ・本人の思いを大切にし地域の方々が協力する事がすごくよかったです。
- ・人とのつきあいができれば認知症が減るのではないか。
- ・コミュニティの大切さ、主役は、本人。
- ・認知症の人も障害のある人も「総活躍分の1」「共に生きる」社会の実現 すばらしい取り組みの御発表ありがとうございました。和歌山市でこのように本人を中心としたまちづくりができるのか、じっくり考えてみたいと思います。
- ・御坊市の取り組みはすばらしいと思います。スターチスの花言葉も知ることができてよかったです。アルツハイマー（認知症）の方の話も聞けることができたのも今後の仕事の参考にしていきます。レビー小体型のこともよく分かりました。
- ・和歌山市では地域のつながりが難しいかな？
- ・もっとご本人の想いを知る為の傾聴が必要と感じました。とても参考になりました。
- ・御坊の方で認知症の方が他の人々の力でつながりで元気を取り戻す姿を見て認知症というものが誰にでも、わたしにもなる事がありえると認識し、自分にも他の人にも、少しずつでも今日のフォーラムを生かそうと思います。

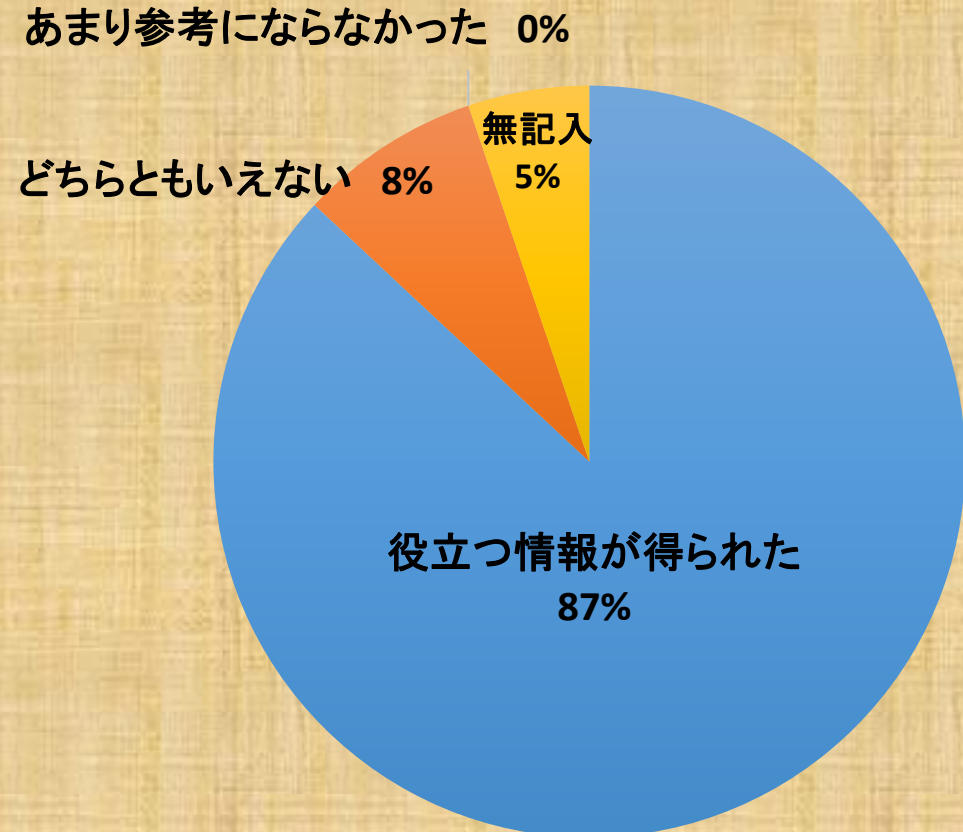
- ・御坊の取り組みを映像で見れてとても分かりやすくとても勉強になりました。見ていて自分の頬がゆるむのが分かりました。本人中心の取り組み、それに向けた市関係者の行動力と柔軟性がすばらしいと思いました。
- ・現在、義母91歳ですが家庭の役割が本人の生きがいであることを再認識することができ、危ないから等の理由で取ってしまわないよう考える機会となりました。
- ・自分の家族が認知症になったらあまり人に知られたくないと思われる方が多い中、事例の中の地域の方に夫の事を知ってもらいたいという勇気、それを受けた職員の方、その両方のつながりで行われたアクションミーティングむつみ会。とても良い事例を学ぶことができました。自分の施設に持ち帰り何が出来るのか考えたいと思いました。
- ・市の職員が地域に出て、地域の声を聞いてその声を実現しているのはすばらしい。
- ・小さなコミュニティならではの効果のある取り組みと思った。当人の声に耳を傾けてフットワーク軽く動く課の方の熱い思い心意気を感じました。となりに誰が住んでいるのか知らない地域の場合はどんな取り組みがあるか知りたい。
- ・御坊市っていい町だなあと思いました。和歌山ではなかなか出来ないような気がします。これからもがんばって和歌山県のトップを走って行って下さい。
- ・本人の意欲のつながり、とてもよかったです。
- ・自分の地域でも取り組みたいと思いました。
- ・ご本人活躍できる場所・・・地域に持ち帰り参考にしたい。
- ・とても興味深く聞かせて頂きました。ありがとうございました。
- ・実際に生活を共にしている家族の大変さや苦しみをどのように、どこまでも理解し軽減して挙げられるか、課題になると思う。その上でとても参考に（支援する側として）なったと思います。
- ・他人事ではなく、自分事として、考えることが必要で「共に生きる社会」という言葉が印象に残りました。
- ・病院にて勤務をしているが、認知症で服薬コントロールできず、家族もフォローできないなら施設に行かせがちになる、それが正しいのかどうかという気持ちになるが、フォーマル・インフォーマルサービスも使いつつ自宅で過ごせるやり方はあるのでしょうか？

- ・主役は地域に住んでいる人である。認知症があるとかは関係なく、普段から地域でコミュニケーションや活動する場があれば少しは人のつながり増えて生きがいにつながるかな。
- ・「認知症は通る道」と奥様が言っていたのが印象的でした。悪いイメージが強いですが、まず正しく理解すること、笑顔で楽しく生活できるよう役割を持つことの大切さがよくわかりました。
- ・私は布施屋地域なんですけどあまり地域の人のつながりがないように思いますが御坊のような機会を作ってほしいと思います。
- ・人の集まるサークル等楽しく話ができる場所
- ・本人本位であるとか、その人の生き様を否定しないかわり方、充分理解が出来るのですが、ただその方向にもっていくと施設側行政も交えて大変な協力が必要であり、理想であると思います
- ・病院内、施設内で認知症の方との接し方を考えて行動しているけど、地域の人たち全体で考えて行動して認知症の方の素の笑顔などがみれるので良かったです。
- ・すばらしい取り組みです。感動しました。
- ・他人ごとではない地域のつながりで共に生きる。言いたいことを言い合える空間が大事。人と人とのつながりを大切にし、認知症の方にやさしい町づくりをされているのに参考になった。
- ・実際の映像でよくわかった。
- ・映像を見ながら実際に支援に携わっているあの話やご家族、本人の話を聞いて、地域で認知症の方と共に生きるという考えが大事だということを改めて考えさせられました。
- ・認知症当事者を周囲がサポートしている姿はとても良かった。行政の前向きな支援がすばらしい。

4. 第3部のパネルディスカッションについてお聞きします。

コーディネーター 和歌山市第4在宅医療・介護連携推進センター センター長 橋本道弘 氏
パネリスト 大阪河崎リハビリテーション大学 学長 亀井一郎 氏
御坊市役所 介護福祉課地域支援係 係長 谷口泰之 氏

役立つ情報が得られた	100
どちらともいえない	9
あまり参考にならなかった	0
無記入	13



討論会(パネルディスカッション)の中で印象に残った内容は何ですか？

パネルディスカッション(自由記載)

NO1

- ・認知症は精神科に受診 介護と医療の面での視点が少し違うと感じました。
- ・逆転の発想で成功された例を聞かせて頂き参考になりました。
- ・橋本さんまとめgoodでした。
- ・講演ではきけなかった。くわしい内容が聞けてよかった。
- ・地域とのかかわり方を事例でみれた事とその時の話をくわしく聞いた事は参考になりました。
- ・有意義な討論でした。今後の仕事にいかしたいと思います。
- ・今後の医療のことも少しずつでも勉強していこうと思います。
- ・認知症の方が医療・介護につなげるには？本人の意見を聞く、全てが本人の思い。
- ・認知症でも色々あることが分かりました。
- ・それぞれの立場でお話して頂き参考になりました。
- ・楽しく、明るく、オシャレしていく。
- ・認知症になっても住み慣れた地域で暮らす方法について、認知症の人が主体でどうしたいのか考え、聞き、地域にうまく貢献させること。
- ・多職種連携が大切だと感じました。
- ・認知症になっても不安なく暮せる地域に住みたい。早く認知症予防、治療できるようになってほしい。
- ・認知症の相談、病院は何科に行けば良いのか？との件で精神科だとお聞きして安心しました。
- ・医療、行政、地域、住民の連帯が必要と思う。
- ・認知症の今後について(ワクチン IPSでの代用)

- ・本人目線に視点を変えるということ
- ・誰もが安心して行ける病院→私もいつもときどきしながら行く事があります。認知症の方は不安だろうと共感しました。
免許書の返納→本人から返そうと思えるように進める
- ・本人の思いを中心にした目線で対応すること。介護者の負担軽減のためにできたのが「介護保険」と思っていたが介護保険が一步進歩している気がした。
- ・総合病院に行つての不安は認知症じゃなくても不安です。
- ・事例の詳しい内容が分かつた。
- ・大病院での患者に対しての対応。
- ・認知症症状について
- ・脳トレをするより楽しい事、喜ぶ事をする事で認知症にはいい方向にむかうという事
- ・本人スタートの考え方
- ・考えが深まりました。
- ・自分の好きな事、楽しい事が一番ということが分かりました。人とのつながりの大切さ。
- ・認知症→精神科受診 つぎに神経内科気軽に受診 認知症初期チーム・包括支援センターへ相談
- ・亀井先生が言っていた事は医療の事だったので理解しにくい部分があつたんですけど谷口先生は介護と身近な部分だったので話し方とか勉強になりました。お2人の話を聞けたのでこれからいっぱい勉強していきたいです。
- ・本人の視線・視点ということがキーワードだと思ひました。こちら都合の関わりは、いけないと感じました。
- ・前頭側頭型認知症についての症状や行動が詳しく分かりました。
- ・空白の期間に、地域全体でアプローチしている事、それを視点を変えて考えるという点。
- ・免許の返納をすぐ行いたいという気持ちになるのですが、本人の気持ちを待つということが必要
- ・おしつけない。何かやらせればいいというものではない。本人の視点に注目する。

- ・すばらしい取り組みとは思いますが現状の状況（スタッフの人数など）から考えて市内ではむずかしいのが現状だと思います。地域の特性を知る事も大事なことと思いました。
- ・つながりを持つことで助け合いが生まれるという言葉が印象的でした。
- ・認知機能を取り戻し改善する。生活の楽しみ、出来る事を探し出す。会話が重要。市、組織を充実する。（介護）（福祉）
- ・行政とDrと立場の違うパネリストをよくまとめて（短く）有意義にすごすディスカッションになったと思います。
- ・知り合いの方や主人や主人の周りの関係でもたくさん看護職、介護職の方がたくさんいますが実際ではかなり葛藤がある話をよく聞きます。大変な割りに辛い状況や環境が良い方向にもっと変わっていける世の中になれば良いなと思います。
- ・医学的な取り組み、地域としての取り組みを統合して行っていくことの大切さが分かり勉強になりました。
- ・本人が納得してでないと言許を返納するのは難しい。
- ・明るく楽しくおしゃべりして認知症予防していきたいです。相手の気持ちになって考えること他の場でも役立つと思いました。
- ・偏った見方しない。お互い様、助け合い、仲間になると人間として生きる。住み慣れたところで生活できる。
- ・手術でなおる認知症がある事、手術も時間かからず出来ると話すことを、聞いて大変すばらしい先生であることが分かり、勉強になりました。
- ・本人が楽しい事、好きな事が良い、誰もが計算ドリルや漢字がいい訳ではない。本人がやりたい事ではない事を無理にさせることで悪化する。→自身をなくすと悪循環になる。
- ・本人の視点で本人と一緒に事業所は視点を変えなければいけない。どうしていきたいか、どう生きたいのか
- ・認知症になられた方にはその人の好きな事、楽しい事が一番じゃないかと言われた事が印象に残りました。
（今のやり方ではもうひとつ）
- ・家族の関わりが難しい。

- ・医療は正しい診断が必要で、でもそこまで、その先は(人生)にはかなり地域の力が必要。予防(事故や転倒等)する事に考え行きがちだけれどもいかに本人に納得してもらうかが大切だということ。
- ・本人目線が重要であること。
- ・認知症の方でもてる力を発揮出来たこと、発揮できるように地域の人に関わっていることが印象に残りました。
- ・認知症の人の立場からみて困っていることをなくそうという取り組みについて。
- ・大事にならない前にその人の生活暦をみてうまく仕事を与えることに置き換えとこと。
- ・当事者の方を中心とした上でのディスカッションとなっていて、それぞれの立場での専門性をもち、歩みよりながらの建設的なものとなっていて有意義な内容であった。高齢社会を目前とした今、様々な社会問題が浮き彫りとなってきていて、なにかと不安がよぎってきます。誰もが安心して暮せるまちづくりを実現していくその過程で、認知症という単独的なことだけではなく、その他の社会問題も乗り越えていけるのではないかと感じました。そのためには、このような機会をつむことも必要なのではと思いました。
- ・医療と介護のお手本のような印象を受けた。
- ・楽しい事、好きな事を行うことが良い。
- ・車の返納の話で生活の中の話と一緒に考えていくことが大事であると改めて考えさせられました。地道に家族、地域を巻き込み自然な形で車の運転をやめることに繋がられた事はすばらしいと思いました。
- ・最後の質問に対しての亀井先生のリハビリテーションの意味がすごく残りました。
- ・話のやりとりがおもしろかった。最後のまとめは参考になりました。

問5. 「もし、ご自身が認知症になった時、何が心配となりますか？」

自由記載

NO1

- ・家族への負担
- ・まわりの人に迷惑をかけないかと思うあまり、家にとじこもりがちになると思うので、楽しく生きることができるかとても心配です。
- ・老後は、在宅療養をしたいと思っています。認知症になっても住み慣れた地域で暮せるのか、家族に迷惑かけないか、介護負担にならないか心配です。
- ・介護者がいないこと(独身なので) 後見人の手続きが間に合うか
- ・自分のしたいように自分の意見が反映してもらえるのかが心配(「認知症だから」と言いたいことがいえないのでは?)
- ・生活していく場所 出来るだけ子供達に迷惑かけたくない気持ちが強いので認知症になったら施設で生活すると思う。施設に入っても地域との関わりは出来るでしょうか。
- ・子供(男子)2人ですので老後を考えると面倒を見てもらえるかなと思うと心配になります。
- ・自分の家族に迷惑かけないか心配。
- ・周りに迷惑を掛けないか
- ・介護保険によるサービスと家族の介護負担が心配になる。
- ・息子夫婦の負担になると考えてしまいます。
- ・家族のことが一番に気になります。
- ・私が認知症になる頃には、支える介護の人がいるのか？若い人の介護職離れの中で専門職のプロの高齢化が気になります。
- ・移動手段、家族との関係、生活や活動、行動範囲の自由度、周辺症状の出現の有無。
- ・良いケアの方に出会えるかどうか心配です。ケアの方によって幸、不幸が決まると思います。
- ・どうやって生活をつづけていくか？環境面、経済面で心配かと思えます。

自由記載 NO2

- ・自分で自分がコントロールできなくなった時の「自分」を自分も知らない事
- ・孤立してしまいさみしい思いをしたくない。他者との関わりの中、その場を作りあげられる立場の人が地域に必ず居てほしい。
- ・国の補助が不十分。国の取り組みが不十分（認知症者や高齢者の増加に対する認識が低い） 社会資源が充実していない。
- ・認知症になっても活躍できる場や楽しめる場が少ない。家の中に閉じこもってしまう環境にある。孤立してしまう環境にある。
- ・家族に迷惑かけること。
- ・誰が支援をしてくれるのか？
- ・後見関連
- ・家族（子供達）の生活にまで迷惑をかけてしまわないかの不安があります。
- ・このごろ暗記力が鈍ってきてカラオケの歌詞が覚えられないのがいやですが本を読んだり日記を書いたり習字をしたり良く体を動かしたり楽しんでいます。
- ・支えてくれる人がいるのか
- ・生活
- ・人に迷惑をかけないか、失礼な事を発言しないかなど、他人との関わりがとても心配
- ・私の在り方シートに記入しておきたいと思いました。
- ・頑固になり孤立するのではと
- ・どのような認知症になるか分からないが人に迷惑かけないようにと思う。
- ・周りの人達の態度が気になります。
- ・子供に迷惑をかけなくて済むようにしたい
- ・日常的な動作が生活に支障がおきたとき、子供達に迷惑かけないか心配
- ・どういうふうに関わりの人に迷惑をかけるのだろうか 人格がどうなるのか心配である。
- ・在宅での日常生活が困難になる事その後の生活等
- ・自分らしくやりたい事が出来なくなる事

自由記載 NO3

- ・生活全般
- ・誰に決定してもらうか、どこに住むか(どこで生活するか)
- ・お金、介護者、今は地域といっても近所付き合いも少ない、今一緒に仕事している仲間と暮せたらいいと考える。
- ・何を口走るのか解らないというのが不安です。
- ・お金のこと、家のこと、今自分の親に事前に出来る事をやっておいてもらう。
- ・特に心配はしていません。
- ・夫と2人暮らしだったが先に亡くなり1人になった。認知症になっても早期に気付く人がいないし、ケアしてくれる人もないので不安。
- ・自分が自分でなくなり、わからなくなること。
- ・家族等、周囲に迷惑をかけないように過ごしたい。楽しく過ごしたい、自分のやりたい事をしたい。
- ・排泄など自己で出来なくなること、人に助けてもらわないと日常生活が出来なくなったとき、きちんとケアをしてもらえるのか。生きているかぎり、気持ちよく安全に、生き生きと過ごしたい。子供達世代には仕事をしてもらわないと、親の介護が終了した時の生活するための生活費や生活の質が下がることで付随して起こりうる問題もあると思う。世代から世代へと継承していくべき大事なものが崩壊する不安もある。地域のつながりによる支援や、お互い様の心が大事で、御坊市のような介護の力に希望を持ってました。和歌山市の地域性では同じようにはいかないと思うが、住民が自分自身のことととらえ、専門職が専門性を発揮し協力できれば、誰もが安心でき、心が豊かになるまちづくりが少しずつ出来るのではないかと思いました。
- ・介護してくれる家族の負担にならないか心配です。
- ・孤独
- ・周りの人の手伝い等、必要になった時、御坊市の行政さんのように熱心に地域の人達に対し取り組むことは大事と思う。
- ・子供が遠くに住んでるのでどうなるか？
- ・他人に迷惑をかけないか
- ・家族に心配かける、そう思うと安心して人生を送る事が不安！！(現在74歳8ヶ月)

自由記載 NO4

- ・認知症の親を5年介護した大変さを知っています。それゆえ家族との対応が心配です。
- ・やりたいこと、興味あることをはたして見つけれられるか心配です。
- ・家族が大変でないか心配です。
- ・子供への負担(出身地ではないので、親類もいない、全てが子供の負担となってしまうので)
- ・自分らしく一生過ごしたい。認知症の理解、住みやすい地域、環境であれば良いな。
- ・つながりをもっていたいと思います。
- ・必要なサービスを受けるお金 虐待されないか
- ・元の生活にもどせるのは、楽しいこと、本人がやりたいことを仲間と共にすばらしく生きる。
- ・本人の思い、その思いを実現するために必要な事、支援出来る事を考えていきたいと思いました。
- ・認知症になった時、事が解らず、周りから人がいなくなる？
- ・住み慣れた地域で暮らす良さは理解できるが近年地域のコミュニティが希薄になっているような気がします。御坊市の症例にもあったように、コミュニティを取り戻すための方法の検討の大切さが解りました。
- ・いつも妻と話すのですが今は笑い話ですんでいます。
- ・周りの人に受け入れてもらえるか。陰で何かを言われていないか。
- ・1人で生活できなくなるのではないか
- ・経済面
- ・親のことをみれなくなる(迷惑かけるから別に暮したいがうけいれてくれる施設があるかどうか)
- ・家族への負担です。
- ・人に迷惑かけたくないですが、今日の話参考になりました。
- ・家族の負担、介護疲れ
- ・家族に対して迷惑や苦勞をかけて辛い思いをしないかが心配